

3
tool 1

確認するのが楽しくなる時計



手だてのポイント

菜奈江は、クイズやなぞなぞで遊ぶのが好きな子です。菜奈江が、楽しみながらアナログ時計の読み方を練習することができるようにしました。アナログとデジタルの2つの時計を用意し、アナログ時計で読んだ時刻を、デジタル時計で確認できるようになっています。デジタル時計に目隠しをして、時刻を確認できるようにしました。



支援×指導＝できた!!

菜奈江は、教師が「今何時ですか」と言うのを聞くと、時計の前に移動しました。そして、菜奈江は、文字盤の目盛りを指差して数え、「8時8分」と小さな声で言いました。「ちゃんと読めたかな」と教師が言うのを聞いた菜奈江は、「見てみます」と言って、デジタル時計の前のボードを手で移動させると、「8分。当たった」と言ってにっこりしました。



用 意

器 具：アナログ電波時計
デジタル電波時計

材 料：スチレンボード

工 夫：アナログ、デジタルの時計双方を電波時計にすることで、誤差なく時間を確認することができるようになります。

3
tool 2

1日の流れを大きなパネルで表示することで、次の活動を理解しやすくするスケジュール表



手だてのポイント

啓太にとっては、学校で行うことは初めてのことばかりです。1日の活動場所や時間をスケジュール表に示したり、朝の会でその日に活動することを話したりすることで、子どもたちが生活に見通しをもてるようにこのスケジュール表を作りました。



工 夫

畳1枚ほどの大きさのパネルに布を貼りつけます。日にちと曜日と天気はマジックテープで取り外しが可能になっています。縦2列の左側は、1時間目の始まる時間、2時間目が始まる時間、給食室に移動する時間、5時間目が始まる時間、帰る時間が教室の時計の写真でクリアファイルに入れてあります。右側は、活動する場所の写真が同じようにクリアファイルに入れてあります。その活動が終わると、2枚のパネルを取って、終わったことがわかるようになっています。*写真左：その日の朝、写真右：給食終了後

支援×指導＝できた!!

4月当初は、初めてのことばかりで生活の見通しがもてなかった啓太でしたが、教師と一緒にスケジュール表を使うことで、少しずつ使い方でなく、生活に見通しがもてるようになりました。そして、移動する際に自分から廊下に並ぶことができるようになったり、その活動が終わったときに、時計と場所の写真パネルをパネル入れに収納したりすることができるようになりました。